

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和5年4月10日

提出区分	実績	整理番号	6	課題区分	C
横断的な課題	With/Afterコロナ時代においても選ばれる持続可能な山岳観光地域づくりの推進				
地域重点政策	2 四季折々に訪れ、北アルプスと安曇野の自然を満喫できる観光地域づくり				
実施機関	北アルプス地域振興局		担当課	所属	企画振興課
事業名	北アルプスサイクルツーリズム推進事業		電話	0261-23-6501	
			E-mail	kitachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	北アルプス地域における自転車走行の魅力を広く全国へ発信することにより、サイクルツーリズムの取組をより加速するとともに、北アルプス地域への来訪者の増加を図る契機とする。			
	現状と課題	・当地域の観光客数は年間700万人前後を維持してきたが、新型コロナウイルス感染拡大以降大きな打撃を受けており、特にグリーンシーズンの観光需要喚起が課題である。 ・屋外で密になりにくいサイクリングはWith/Afterコロナにおいて受け入れられやすく、また、地形や自然景観など当地域の特性とも親和性の高いグリーンシーズンのアクティビティである。 ・広く全国から自転車愛好者の来訪を促進するため、当地域における自転車走行の情報や魅力の発信が重要だが、従来のマップ配布や県公式HPのみでは、その情報にアクセスする方が限定的である。			
	内容 (変更後の内容)	○自転車情報専門サイトへの体験記事掲載による情報発信 北アルプス地域5市町村を巡る「北アルプス地域サイクリングモデルコース」を体験・紹介する記事を作成し、サイクリングコースマップや自転車関連記事を専門に扱うサイトに掲載し情報発信する。 ・サイクリスト向けの訴求力のある記事作成が可能 ・時間や場所を問わず、全国のサイクリストが情報にアクセス可能 ・地域のサイクリストとの協働を図る(撮影協力いただき、愛着につなげる) ○広域連携によるサイクルツーリズムの推進 北陸新幹線の敦賀延伸を見据え、新潟県糸魚川地域振興局等とともに、信越エリア連携で関西圏を対象に推進する。来年度以降のサイクルイベントへの共同出展に向け、今年度は「サイクルモードライド大阪2023」に視察参加し、モデルコースマップ、ノベルティ等の配布による情報発信を行う。			
	事業期間	令和4年9月 ～ 令和5年3月			
事業費	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	自転車情報専門サイト 体験記事作成、掲載	WEBコンテンツの作成と掲載	495,000		
	広域連携によるサイクルツーリズムの推進	サイクルイベントでの情報発信	76,320		
	合 計		571,320		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	モデルコースマップ(WEBページ)閲覧数 (R4平均)		200件/月	190件/月	○ 達成
	記事(委託WEBページ)閲覧数 (掲載後R4平均)		200件/月	516件/月	● 一部達成
	サイクルイベント来場者へのマップ、ノベルティ等配布数		200名	200名	○ 未達成
事業実績・成果	○自転車情報専門サイトへの体験記事掲載による情報発信 走行、取材: 令和4年10月28日(金)～29日(土) (北アルプス地域サイクリングモデルコース東側半周) 体験記事ページ: https://tabi-rin.com/archives/article/86132 (公開: 令和4年11月25日) マップページ: https://tabi-rin.com/archives/map/83068 ○広域連携によるサイクルツーリズムの推進 ・サイクルモードライド大阪2023 視察参加 開催日: 令和5年3月4日(土)、5日(日) 会場: 万博記念公園(大阪府吹田市) 来場者数: 13,949名(主催者発表) 北信地域振興局、信越自然郷、新潟県糸魚川地域振興局、同上越地域振興局のほか、四国エリア、山陰エリア等の展示を視察。来場者の多さや熱気からスポーツサイクルの盛り上がりを実感し、信越エリアへの関心が高いこともうかがえた。信越エリアでの一体感のある出展に向けた連携構築につながった。 また、北アルプス地域のサイクリングマップ、観光情報等を配布した。関係サイト閲覧数の増加が見られたため、QRコード付きチラシを配布した効果があったものと思われる。				
今後の方向性	○自転車情報専門サイトへの体験記事掲載による情報発信 ・モデルコース西側半周(春ver)を取材・記事化し、あわせて全体のPR動画を作成する。 ○広域連携によるサイクルツーリズムの推進 ・新潟県糸魚川地域振興局ほか関係機関と連携し、イベントへの共同出展を目指す。				